


令和4年度 施策評価シート

施策の大綱	2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	評価担当者
基本施策	(6) 文化芸術の推進	市民文化部長 辻村 俊孝
目指す姿	市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で、心豊かに暮らしています。	
関連する分野別計画	亀山市文化芸術推進基本計画	

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	
SDGs推進の考察	亀山文化芸術推進審議会において、これまでのかめやま文化年事業の検証を行うことで、今後の事業検討をスムーズに進めることができた。また、亀山トリエンナーレ実行委員会や亀山芸術文化協会との連携及び財政支援等により、様々なパートナーシップにより、事業の推進を図ることができた。

■ 関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段: 予算額	実績・成果等
		下段: 決算額	
①	かめやま文化年事業	0	亀山市文化芸術推進審議会からの文化年事業に対する提言書を受け、市の方針を決定した。また、かめやま文化年2024実行委員会の立上げに向け、公募等により委員選定の準備を行った。
		0	
③	一般事業 (文化振興事業)	4,610	市民俳句会を開催できた。亀山トリエンナーレ実行委員会に対し財政支援を行うとともに、広報等の事業協力を行った。芸文祭の開催にあたり、亀山市芸術文化協会を財政支援した。
		4,427	
③	市展開催費	3,330	市展を開催することにより、市民に創作活動及び発表の機会を創出できた。名誉市民中村晋也氏の彫刻作品や伊賀市長賞作品も展示し、多くの市民に作品鑑賞の機会も提供できた。
		2,980	

太字: 主要事業

■ 成果指標

指標	単位	現状値		実績値				目標値	
				R4	R5	R6	R7		
1	関係分野における文化芸術の活用事業数	事業	13	R3	13				16
2	文化会館自主文化事業にかかる参加・入場者数	人	1,953	R2	10,797				15,000
3	市主催等の公募展への出演・出展者数	人	156	R2	145				200
4									
5									
6									
7									
8									

■ 市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	芸術や文化に関わる機会が充実している	重要度 0.63			— 令和5年度の市民アンケートの結果を踏まえて、次年度に考察します。
		満足度 ▲ 0.64			
2		重要度			
		満足度			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			

■ 施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 文化芸術施策の推進	令和6年度に「かめやま文化年2024」を開催するため、本年4月より実行委員会とともに事業検討に着手した。まちの賑わいや魅力の創出につなげるべく準備を進めていく。
② 文化芸術の拠点づくり	文化会館会議棟の男女トイレの洋式化やワイヤレスマイクの購入などの機能整備により、市民の施設利用の促進に努めた。今後も計画的な機能整備を図っていく。
③ 文化芸術活動の活性化	文化会館と連携し、文化芸術活動の成果発表の機会の創出と優れた文化芸術の鑑賞・体験の機会の提供を図った。今後もこれら機会の充実を図っていく。
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

文化芸術施策の推進については、令和6年度に「かめやま文化年2024」を開催するため、亀山市文化芸術推進審議会から今後の文化年事業に対する提言書を受け、市の方針を決定したことにより、その後の事業検討をスムーズに進めることができた。また、「かめやま文化年2024」実行委員会の委員選定等を進めることにより、翌年度の委員会の円滑な開催に向けた準備を行うことができた。文化芸術の拠点づくりについては、文化会館会議棟の男女トイレの洋式化やワイヤレスマイクの購入など、機能整備を図ることで、市民の施設利用の促進に努めた。文化芸術活動の活性化については、市民俳句会を開催できたほか、亀山トリエンナーレ実行委員会に対し、補助金による財政支援を行うとともに、市広報や展示会場などの事業協力を行うことで盛大に開催することができ、文化芸術の交流によるにぎわい・魅力の創出につなげることができた。また、3年ぶりの芸文祭の開催にあっては、亀山市芸術文化協会と連携するとともに財政支援を行ったが、組織の存続のために会員の発表の機会や学校へのアウトリーチを増やすことにより、組織の活性化を図って行く必要がある。市展については、文化会館と連携し、多様な体験・鑑賞の機会の充実につながったものの、出展者数が若干減少したことから、更なるPR等の強化を図り、文化芸術活動の成果発表の機会の創出と気軽に文化芸術に親しむ機会の充実を図っていく必要がある。	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>まずは進んだ</p>
--	---

今後の展開方針

文化芸術施策の推進に向け、特に、かめやま文化年事業については、実行委員会を組織したうえで事業コンセプトを確定するとともに、ロゴデザイン、PRグッズ等の作成や文化年事業ホームページの立ち上げにより、広く市民に文化年事業の機運の醸成を図っていく必要がある。文化芸術の拠点づくりについては、核となる文化会館の計画的な機能整備を図り、市民の施設利用の促進に努める。文化芸術活動の活性化については、亀山市芸術文化協会など、文化芸術活動を行う団体との連携を強化し、文化芸術に優れた人材の育成と市民の自主的な活動を支援するとともに、地域固有の民族芸能などについても継承していくための支援等を行い、次世代へとつなげていく取り組みを進めていく。
